

課・タイトル	L5 しよじする
ねらい	飲食店に行き、食事をする事ができる。

パート	L5-1
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人を誘って飲食店に行くことができる。 ・飲食店に入って、人数と席の希望を店員に言うことができる。
場面設定	学生が友だちを誘ってレストランに行き、入り口で店員に人数と席の希望を聞かれます。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>「きんえんせき」「きつえんせき」のこたばカード</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2コマ目は、レストランに客(学生二人)が店に入ってきたところです。店員役の学習者は客役の学習者二人が近づいてきたら、「いらっしやいませ」と言います。場面会話の絵を参考に、店員らしく振舞うように指導します。 ・3コマ目は、会話例を聞いた後、絵の禁煙席、喫煙席を示して、「きんえんせき」「きつえんせき」とリピートさせます。その後、こたばカードを出して文字でも確認させた後、再度リピートさせます。こたばカードは3コマ目の絵の近くに貼っておきます。
練習1	<p>用意するもの</p> <p>音楽のCD、テキストp.82①, p.83①③の動詞の絵カード数組、2種類の動詞のフラッシュカード数組(1. カードの表に現在肯定形「～ます」、裏に「～ませんか」と書いたもの。例:いきます／いきませんか 2. カードの表に「～ます」、裏に「～ましょう」と書いたもの。例:いきませんか／いきましよう)</p> <p>動詞「～ませんか」-「～ましよう」</p> <p>テキスト p.102①①</p> <p>まず、場面会話1コマ目の会話をさせた後、セリフを見せて、「いきませんか」「いきましよう」に注目させて、「いきませんか」「いきましよう」をコーラスさせます。続けて、「みなさん、ちょっとつかれましたね。おんがくをききませんか。」と学習者に声をかけます。学習者が「ききましよう。」と答えたら、いっしょに用意した音楽を少し聞きます。その後、①のモデル会話の絵を見せて、会話をさせ、「のみませんか」「のみましよう」をこたばカードで示します。</p> <p>次にp.82①, p.83①③の動詞の絵カードを見せて、その動詞を使って「～ませんか」「～ましよう」と言わせます。続いて、学習者を二人組にし、各グループに絵カードを配布します。一人が絵カードを見せて「～ませんか」と言い、もう一人が「～ましよう」と言うように指示します。「～ませんか」「～ましよう」の意味は場面会話で十分わかっていますから、実際に誘っているように練習させます。続いて、フラッシュカードを使って、「～ます／～ませんか」、「～ます／～ましよう」、「～ませんか／～ましよう」を言う練習をします。始めに、「～ます」を見せ、学習者が「～ませんか」と言ったら、カードの「～ませんか」の面を見せて正しく言えたか確認させます。同様に、「～ましよう」を言わせ、「～ましよう」の面を見せて確認させます。さらに、「～ませんか」を見せて、「～ましよう」を言う練習をします。コーラスで練習したあと、学習者3名のグループにフラッシュカードを配布して、同様の練習をします。フラッシュカードを見せる学習者には、二人の言いかが正しいかどうかチェックをするように、また、二人がよくできたらカードを速く出すようにと指示します。</p> <p>その後、1)～3)の練習をします。絵を見て全体で練習した後、二人組にして練習させます。</p>

練習2	<p>用意するもの</p> <p>テキスト p82①, p.83①③の動詞の絵カード数組、およびフラッシュカード数組(カードの表に「～ます(例: たべます)」、裏に「～にいきます(例: たべにいきます)」と書いたもの)</p> <p>「場所」へ～にいきませんか。」-「～ましょう。」</p> <p>テキスト p.103②①</p> <p>場面会話の1コマ目を見せて、もう一度セリフを言わせませす。セリフを見せて「たべにいきませんか」に注目させ、「たべにいきませんか」とコーラスさせませす。次に、②のモデル会話の絵を見せて、「えいがをみにいきませんか」「いいですね。いきましょう。」と言わせ、吹き出しを見せて「みにいきませんか」に注目させませす。続いて、動詞の絵カードを見せて、「～にいきませんか」と言い換える練習をします。テキスト p82①, p.83①③の動詞の中から「～にいきませんか」という言い方でよく使う動詞を選んで練習させませす。「帰りにいきます」「来にいきます」「起きにいきます」など、使わない動詞の絵カードを変換練習に混ぜてしまわないように注意してください。</p> <p>また、「勉強します」「買い物します」「散歩します」は「勉強にいきます」「買い物にいきます」「散歩にいきます」という「名詞」にいきます」の形も使いますが、ここでは「勉強しにいきます」「買い物しにいきます」「散歩しにいきます」で練習させてください(「名詞」にいきます」はL7-1で扱います)。</p> <p>絵カードで練習したら、次にフラッシュカードで言いかえる練習をします。始めに、動詞ます形「～ます」から「～に」に変換する練習をします。フラッシュカードで「たべます」を見せて、「たべに」と言わせませす。「ます」を手でかくして、「に」を強調して発音し、リピートさせませす。2～3の動詞で同様にリピートさせたら、後は教師のモデルなしに言えるように練習をします。次に、「～ます」を見て、「～にいきます」と言う練習をします。学習者が答えたら、裏面の「～にいきます」を見せて、確認させませす。全体で練習をしたら、グループに分けて、すらすら言いかえられるように練習させませす。</p> <p>その後、1)～3)の練習をします。絵を見て全体で練習した後、二人組にして練習させませす。</p>
練習3	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>「なにか」「どこか」「だれか」</p> <p>テキスト p.104③①②</p> <p>場面会話の1コマ目を見せて、もう一度セリフを言わせませす。セリフを見せて、「なにか」に注目させませす。そして、「二人はなにをたべますか。」と学習者に問いかけませす。学習者が答えられないのを待って、「食べますか。食べませんか。」と聞きます。学習者が「食べます。」と言ったら、「何を? ケーキ? スパゲッティ?」と問いかけませす。学習者が答えられない様子を見て、「そうですね。何をたべますか、わかりませせん。でも、食べますね。」と言います。その後、③のモデル会話の絵を見せて、会話をさせませす。Aが持っているものの「?」に注目させ、Aが何を食べるか決めていないことを確認させませす。①は「どこか」、②は「だれか」です。①のA、②のBがそれぞれどこか、だれか決めていないことを確認させてください。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>できますか?</p> <p>場面会話とほぼ同じです。人数を変えて練習をしましょう。人数の言い方は、p.139のコラム1「かぞえかた」を使って練習をさせてください。ただし、ここでは学習者が言いたい人数が言えればいいので、軽クリピート練習をするのにとどめませす。</p> <p>これもできますか</p>

こちら場面会話とほぼ同じです。1コマ目を「さむいですね。」「なにかのみにいきませんか。」などに置きかえて練習させてもいいでしょう。

パート	L5-2 ケーキにします
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューを見て何を注文するか話すことができる。 ・メニューを見てわからないものがあったとき、何か聞くことができる。
場面設定	レストランに入って、席に着いて、何を食べるか相談をします。メニューを見てわからないものがあるので、店員に聞きます。その後、注文をします。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>スイーツ&飲み物のメニュー(チョコレートケーキ、コーヒー、きょうのケーキが入ったもの)</p> <p>例)</p> <div data-bbox="608 712 1174 1196" data-label="Image"> </div> <p>ケーキ3種(りんごのケーキ、他のケーキ2種類)の写真か絵、「しょうしょう おまちください」「かしこまりました」のことばカード</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3コマ目「これ、なんですか。」、4コマ目「これにします。」「これとコーヒー、ください。」を言うときは、メニューのその場所を指さすように指導します。 ・店員の表現「しょうしょうお待ちください」「かしこまりました」は聞き取りにくいので、会話を聞いてリピートした後、ことばカードで示して、それぞれ2コマ目、5コマ目の絵の近くに貼ります。 ・会話が長いので、5コマまでの絵を見せて、全体の流れを確認したら、1コマずつ絵を見てセリフを言う練習をします。そのコマが言えるようになったら、前のコマと続けて言う練習をします。さらに、1コマ目から続けて言う練習をします。絵を見ながら、少しずつ言う練習を進めていきます。
練習1	<p>用意するもの</p> <p>缶ジュースやペットボトルの飲み物の写真か絵(数種)、靴・靴・ネクタイ・ハンカチ・花などの商品の写真か絵(それぞれ5種類ぐらいつつ)</p> <p>「どれにしますか。」-「わたしは物にします。」</p> <p>テキスト p.108①</p> <p>場面会話の1コマ目を見せて会話させた後、セリフを見せ、「どれにしますか。」に注目させます。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話をさせ、1)~3)の代入練習をします。その後、缶ジュースやペットボトルの飲み物を数種出して、学習者にモデル会話と同じ会話をさせます。学習者は自分</p>

	<p>の好きなものを選んで、「～にします」と答えます。</p> <p>テキスト p.108①③</p> <p>シャツの売り場でシャツを選びます。Bは自分で好きなものを選びます。その後、用意した靴・靴・ネクタイ・ハンカチ・花などの商品の写真や絵を使って、「どれにしますか。」「わたしはこれにします。」「あるいは、「わたしはくろいのにします。」のように買うものを言う練習をします。</p>
<p>練習2</p>	<p>用意するもの</p> <p>ランチに出そうな料理(サンドイッチ、天井、オムレツなど)の写真か絵、ケーキ数種の写真か絵(見ただけでは具材が分かりにくいもの。例:バナナケーキ、レモンケーキ、チーズケーキなど)、てんぷら(エビや野菜などよく見るものと、アボガド)の写真か絵、「～の～です。」の文型カード</p> <p>「なんですか。」-「食べ物・飲み物・料理です。」/「具材の食べ物・飲み物・料理です。」</p> <p>テキスト p.108①②</p> <p>場面会話2コマ目を見せて会話を言わせた後、セリフを見せて、「なんですか。」に注目させます。その後、①のモデル会話の絵を見せて会話をさせます。できたら、ランチに出そうな料理(サンドイッチ、天井、オムレツなど)の写真か絵を使って、応用練習をするといいでしょう。</p> <p>テキスト p.108②</p> <p>見た目や料理名からはどんな料理かわからないときの聞き方を練習します。</p> <p>場面会話3コマ目を見せて会話を言わせた後、セリフを見せて、「りんごのケーキです。」に注目させます。その後、ケーキの写真か絵を使って、「これ、なんですか。」と聞き、「イチゴのケーキです。」のように「具材の料理です。」で答える練習をします。続いて、てんぷらの写真を見せて何の天ぷらかを言わせた後、②の絵を見せて会話をさせます。「～の～です。」を文型カードで示して、「具材の料理名です。」という形になることを確認させます。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>メニュー(「じゆうにはなしましょう」の1コマ目の絵を拡大し、「きょうのランチ」と値段を書き加えたもの)「きょうのランチ」のカード</p> <div data-bbox="810 1326 995 1603" data-label="Image"> </div> <p>できますか?</p> <p>二人はレストランに昼ご飯を食べに来ました。二人はメニューを見ます。タンさんはスパゲッティとコーヒーに決めましたが、マリーさんは「きょうのランチ」は何か店員に聞きます。とろふのハンバーグだと聞いて、それとコーヒーを注文をします。二人は店員にメニューを指さしながら注文をします。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>メニューを見て注文をします。1コマ目のメニューの絵を使って練習をした後、自作のメニューなどを使って練習するといいでしょう。</p>

パート	L5-3 おいしいですね
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の味がどうかを言うことができる。 ・ほしいものを言うことができる。
場面設定	仕事の後、二人は寿司を食べながら、話をします。シンさんは初めて寿司を食べます。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>にぎり寿司・ちらし寿司・醤油さし・わさび・コップの写真か絵</p> <p>* 醤油、わさびは知らない人もいますから、できれば実物を用意して見せるといいでしょう。</p> <p>指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のとき、ちょっとした会話ができること、味の感想が言えることがねらいです。 ・「すみません。しょうゆ、とってください。」は表現として扱います。テキストの絵やジェスチャーで意味を伝えます。ここで「～てください」の説明や文型練習はしません。 ・3コマ目、4コマ目は味の感想を言う場面ですから、食べるふりしてから「おいしいですね。」「からい！」と言います。表情や声のトーンにも注意させます。 ・5コマ目は「みず、ください。」で会話は終わりですが、店員が水を入れたコップをもってきて、「はい、どうぞ」と言ってコップを出すところまで演じると、「みず、ください。」の意味がよくわかります。
練習1	<p>用意するもの</p> <p>味の形容詞「あまい」「からい」「すっぱい」「にがい」「しおからい」「おいしい」のことばカード、およびフラッシュカード数組(カードの表に「～いです(例:あまいです)」、裏に「～くないです(例:あまくないです)」と書いたもの)、甘さ、辛さ、すっぱさ、苦さ、塩辛さの程度の異なるもの(それぞれ2～3種程度)の写真か絵(例:チョコレート・ポテトチップス、ラーメン*、レモン・みかん、など)* ラーメンは辛さの程度を唐辛子のマークで示しておきます。「×」のカード、「あまいです」「あまくないです」のことばカード</p> <p>「～いです。」</p> <p>テキスト p.112①</p> <p>場面会話の3コマ目、4コマ目の絵を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「おいしい」「からい」に注目させ、それぞれの絵に「おいしいです」「からいです」のことばカードを貼ります。①のモデル会話の絵を見せて、味を表す形容詞を導入し、「あまいです」「からいです」「すっぱいです」「にがいです」「しおからいです」のことばカードを示します。テキストの絵だけでも十分伝えられますが、チョコレート、とうからし、レモン、コーヒー、塩昆布をすこし食べて、「あまい」「からい」「すっぱい」「にがい」「しおからい」を言わせると楽しく学習を進めることができます。</p> <p>味の形容詞が言えるようになったら、①のモデル会話の絵を見せて、会話をします。「～くないです。」は「あまくなくて、おいしくない」という表情と声のトーンで発話して、意味を伝えます。次に、「あまいです」「あまくないです」を書いたことばカードを見せて、否定形が「～くないです」になることを確認させます。続いて、①の「からい」「すっぱい」「にがい」「しおからい」の絵を見せて、○のカードを出して「～です。」、×のカードを出して「～くないです。」と言わせます。さらに、フラッシュカードを使って言い換え練習をします。表の「あまいです」を見て、「あまくないです」と言ったら、裏の「あまくないです」を見せて確認させます。</p> <p>「～です」「～くないです」が言えるようになったら、チョコレートとポテトチップスの絵を見せて、チョコレートを指して「これはあまいです。」ポテトチップスを指して「これはあまくないです。」と言わせます。以下同様に、レモンとオレンジ、辛さのマークが異なるラーメンなどの写真か絵を見せて、モデル会話と同様の会話をさせます。</p>

<p>練習2</p>	<p>用意するもの</p> <p>小さくて重い鞆と大きくて軽い鞆 * 小さい鞆には本などを入れて重くしておきます。</p> <p>新幹線とバスの写真か絵、「～です。でも、～です。」の文型カード</p> <p>「～です。でも、～です。」</p> <p>テキスト p.112①～③</p> <p>場面会話 3 コマ目と 4 コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、セリフ中の「でも」に注目させます。次に p.112 ② のモデル会話の絵を見せて、会話をさせます。場面会話とモデル会話のセリフを言うとき、「でも」の前件と後件で表情と声のトーンを変え、「でも」が逆接であることを示します。そして、「～です。でも、～です。」の文型カードを示します。</p> <p>続いて、小さくて重い鞆の絵と大きくて軽い鞆の絵を見せて、「このかばんは小さいです。でも、おもいです。」「このかばんはおおきいです。でも、かるいです。」と言わせます。続いて、新幹線とバスの絵を見せて、「京都へ行きます。新幹線ははやいです。でも、高いです。バスは遅いです。でも安いです。」と言わせます。</p> <p>「でも」が逆接であることが理解できたら、①～③の練習に進みます。絵をよく見て、先に逆接になることを確認してから、2人組で会話を考えさせて発表させます。</p>
<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p>水、紙コップ、「なにかがほしいですか」「～がほしいです」の文型カード</p> <p>「なにかがほしいですか。」- 「物がほしいです。」</p> <p>テキスト p.113③</p> <p>場面会話の 5 コマ目を見せて会話を言わせます。セリフを見せて、「ほしいです」に注目させます。続いて、学習者に「みなさんは水がほしいですか。」と聞きます。「はい。」と答えた学習者に「はい、どうぞ。」と言って水を紙コップに入れて渡します。水がほしいと言わなかった学習者に「何がほしいですか。」と聞きます。学習者が「○○がほしいです。」と言ったら、「すみません。ありません。」と答えます。同様に、数名の学習者に「何がほしいですか。」と聞きます。その後、③のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を言わせます。その後、「なにかがほしいですか」「～がほしいです」の文型カードを示します。</p> <p>続いて、学習者を2人組にして、互いに「○○さんは誕生日に何がほしいですか。」と質問して、「～がほしいです。」と答えさせます。その後、教師が学習者に対して、同様に質問をします。</p> <p>「～がほしいです。」は「(私は)～がほしいです。」と「私」が欲しい物を表します。相手に質問をする場合には「(あなた/○○さんは)～がほしいですか。」と使えますが、第三者が欲しい物を表すのに「○○さんは～がほしいです。」とは言えません。したがって、練習 ③ では、必ず自分のことだけを言わせるように、注意して進めていきます。もし学習者が他の学習者のことを言おうとして、「○○さんは～がほしいです。」と言った場合には、「○○さんは～がほしいと言いました。」と言い直させます。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>ふきのとうの写真、たらこの写真</p> <p>できますか？</p> <p>サラさんと中村さんが和食を食べに行きます。サラさんが箸をとってほしいと中村さんに頼みます。そして「いただきます」と言って、食べ始めます。サラさんは、ふきのとうの天ぶらは初めてなので、中村さんに「これはなんですか。」と聞きます。中村さんがふきのとうだと教えてくれます。食べてみると少し苦いので、「お茶がほしいです。」と言います。中村さんが店員にお茶を2つ頼みます。ふきのとうを知らない学習者もいるので、ふきのとうの写真か絵を見せて、どんなものかイメージしながら会話ができるようにします。</p>

	<p>これでもできますか？</p> <p>ビュッフェスタイルのレストランです。まずAさんはBさんに皿をとってほしいと頼みます。続いて、並んでいる料理の中によく知らないものを見つけて、Bさんに聞きます。Bさんは「たらこ」だと教えます。Aさんは食べてみますが、塩辛いので水がほしいと言います。BさんがAさんのコップに水を入れてあげます。</p> <p>「できますか」と同様に、たらこを知らない学習者もいるので、たらこの写真を見せて、どんなものかイメージしながら会話ができるようにします。</p>
<p>アクティビティ</p> <p>—</p>	<p>用意するもの</p> <p>料理名のことばカード</p> <p>はなしましょう</p> <p>p.116の料理の絵を見せて、料理の名前を言わせます。料理名のことばカードを出して絵のそばに貼ります。続いて、「はなしましょう」のモデル会話の絵を見せながら、会話をリピートさせます。その後セリフを見て、確認します。学習者を二人組にして、互いにモデル会話の質問をし合い、どんな店へ行くか聞き合います。相手を変えて、3、4人と質問合います。誰が何を言ったかを簡単に母語でもいいのでメモするように指示します。その後で、メモを見てみんなの前で、どんな話をしたかを簡単に紹介させます。</p> <p>しょうかいしましょう</p> <p>学習者を4、5人のグループにします。できるだけ「はなしましょう」で話した人と異なる人になるようにグループを組みます。「はなしましょう」で話したことをもとに、自分の近くの飲食店の紹介と自分が食べたことのある料理の話させます。10分ぐらい準備の時間をとって、発表時に使う絵や地図を書かせ、何を言うかを考えさせます。準備ができたなら、一人ずつ発表します。</p> <p>しつもんしましょう</p> <p>発表を聞いた後、発表者は「しつもんがありますか」と言います。聞いている学習者は「味はどうでしたか。」「いつも食べますか。」など、質問をします。学習者から質問が出ないときは、教師が質問をします。発表と質問の時間を合わせて、一人5分程度で交代します。</p> <p>この後「かきましょう」に入ります。アクティビティーで話したことを書かせます。</p>
<p>よみましょう</p>	<p>指導のポイント</p> <p>ハンバーガーショップのメニューを見て、話しています。会話を読んで、質問に答えます。実社会の中で行われる読む作業では「会話を読んで答える」ということはありませんが、初級開始時のレベルでは口頭練習を中心に学習を進めていますので、発話表現を通して読むことに慣れるという目的で、このような読みのトレーニングを行います。</p> <p>読み取りのポイントは、ハンバーガーの数です。Aさんはハンバーガー3つ700円だからいっしょに食べようと言います。しかし、Bさんがビタミンバーガーがいいと言うので、ハンバーガーを注文するのはAさんとCさんです。会話の4行目の「じゃあ、ハンバーガーは2つですね。」は「ハンバーガーを2つ注文する。」という意味です。それぞれの文は短いのですが、会話の流れをつかんで答えることが課題です。金額が合っているかだけを確認するのではなく、どうしてその金額になるのかも確認させます。</p>
<p>かきましょう</p>	<p>指導のポイント</p> <p>アクティビティーで話したことをもとに、近所の飲食店の紹介と自分が食べたことがあるものの感想を書きます。例を参考にして書きます。アクティビティーに続けて行ってください。</p>